

[010]九州大学産学連携センター年報 : 10

<https://doi.org/10.15017/15510>

出版情報 : 九州大学産学連携センター年報. 10, 2004-11-30. 九州大学産学連携センター
バージョン :
権利関係 :



1. KASTEC の概要

1.1 KASTEC の目標

九州大学産学連携センター（KASTEC）は、その前身である先端科学技術共同研究センターが平成6年度に設置されて以来10年間にわたり、21世紀の我が国の社会とつなぐ産業・経済を支えるテクノロジー・イノベーションを九州大学より世界に向かって発信すべく、また地域に新たな産業基盤を創成すべく、九州大学と社会とを結ぶ絆として種々の活動を行いつつ今日に至ります。

KASTEC ではこれまで、

- ・ 産学連携に関する実務ならびに研究を推進する専任教員から成る“リエゾン部門”
 - ・ 4つの先端学際領域で産学官連携大型プロジェクト研究を推進する“プロジェクト部門”
- が数々の実績を上げてまいりましたが、漸次の改組拡充を経た平成14年初頭にはKASTEC 新棟が竣工し、意義ある産学連携のための一大拠点として、KASTEC 専任教員のみならず全学に開かれた研究・研修の場を提供することとなりました。そして平成15年10月、九州大学と九州芸術工科大学との統合を契機として、技術の人間化というコンセプトに立ちヒューマンインタフェースのあくなき進化とその社会への還元を志向する同校地域共同研究センターが新たに“デザイン総合部門”として加わったことから、今日ではこの三部門の有機的連携のもと、九州大学の社会貢献活動が活発に展開されています。また全学的には、九州大学産学連携推進機構（BL0）の重要な担い手として、学外からの技術経営相談や技術移転機関（TL0）への対応を行うなど、九州大学のリエゾンシステムの窓口として機能しています。さらにリエゾン部門及びデザイン総合部門は、BL0に設置された九州大学知的財産本部の一員としても活動の場を広げています。

このように時代の要請に応じ歩を進めてきたKASTEC ではありますが、その根幹には不易のものとして「新産業の創成と豊かな地域社会の実現」を基本方針とし、“3つの目標、9つの方策”を掲げ、研究と社会貢献活動に邁進しています。

A 産学官技術移転システムの構築とそれに関する新しい学問領域の創造

- a 1 研究シーズと産業ニーズに関する調査・分析及び技術移転コーディネート
- a 2 研究成果・研究支援などの情報の整備と発信
- a 3 実効的かつ総合的な技術移転システムの構築に関する研究

B 産学官交流による地域社会等への貢献

- b 1 民間企業等との共同研究・受託研究等の推進
- b 2 産学官交流の場の提供と技術シーズの発掘
- b 3 産業ニーズの発掘と産学官研究プロジェクトのコーディネートの推進

C 先端的プロジェクト研究による高度な産業技術シーズの創出

- c 1 産学官の研究者等からなる研究チームの結成
- c 2 先端研究領域における国内外博士研究員の招聘
- c 3 横断型プロジェクトの企画と推進

リエゾン部門は上記の「A 産学官技術移転システムの構築とそれに関する新しい学問領域の創造」、デザイン総合部門はデザイン領域における「A 産学官技術移転システムの構築とそれに関する新しい学問領域の創造」及び「C 先端的プロジェクト研究による高度な産業技術シーズの創出」、そしてプロジェクト部門は「C 先端的プロジェクト研究による高度な産業技術シーズの創出」を目標とし、三部門で協同して「B 産学官交流による地域社会等への貢献」という目標を掲げ、事業に取り組んでいます。

この年報は、平成15年度のKASTECの活動をまとめたもので、上記A～Cの目標を基に行った事業報告等を2章～5章に、これらを受けての総括及びKASTECの今後の活動の方針を6章に示しました。

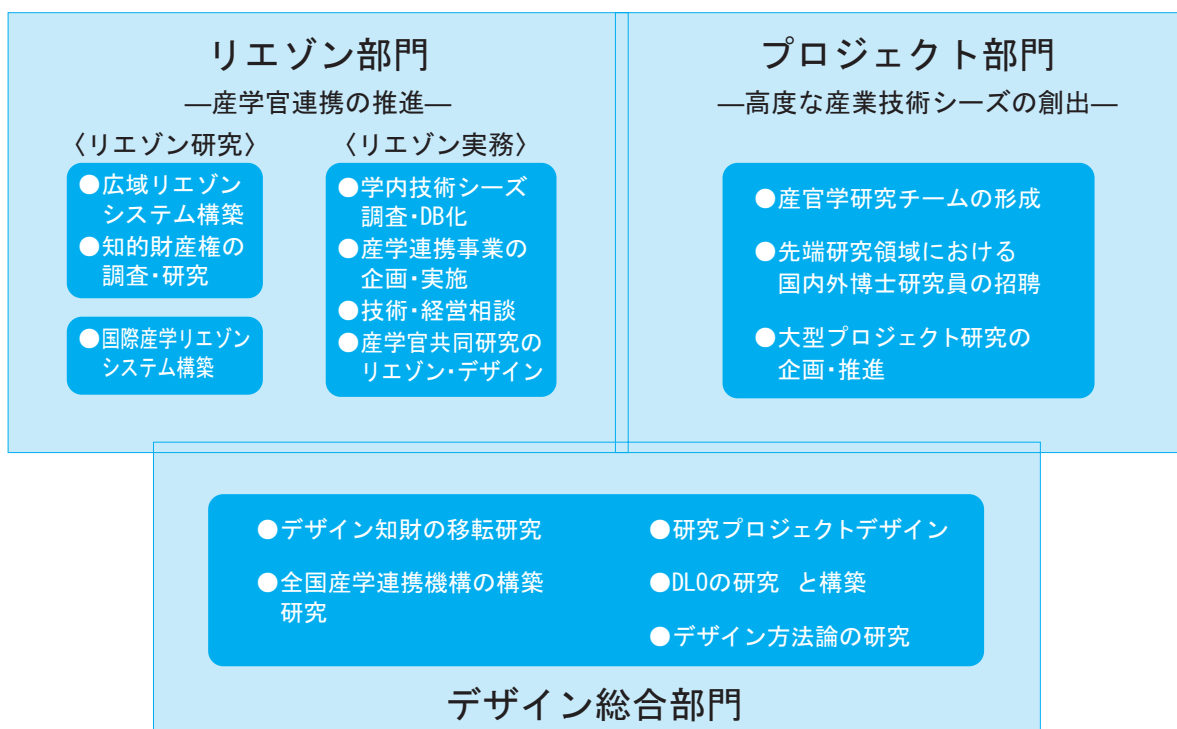
1.2 運営方法と組織

KASTEC の運営は、「九州大学産学連携センター規則」（附録1）に則って行われています。すなわち、全学から選出されたセンター委員（平成15年度の委員名を附録2A 及び2B に示します）によるセンター委員会が最高の意志決定機関となり、センターの管理運営や自己点検評価、教員人事、共同研究等業務の詳細等について審議を行います。

全学的にみて KASTEC は、ベンチャービジネスラボラトリー及び関係各部署の連携により構成される九州大学産学連携推進機構（Business Liaison Office; BL0）の中核的センターとして位置付けられており、リエゾン部門及びデザイン総合部門は、BL0 内に設置されている知的財産本部の重要な一翼を担っています。また九州大学には大学全般の産学連携活動の活性化のために、文部科学省産学官連携コーディネーターが配置されています。

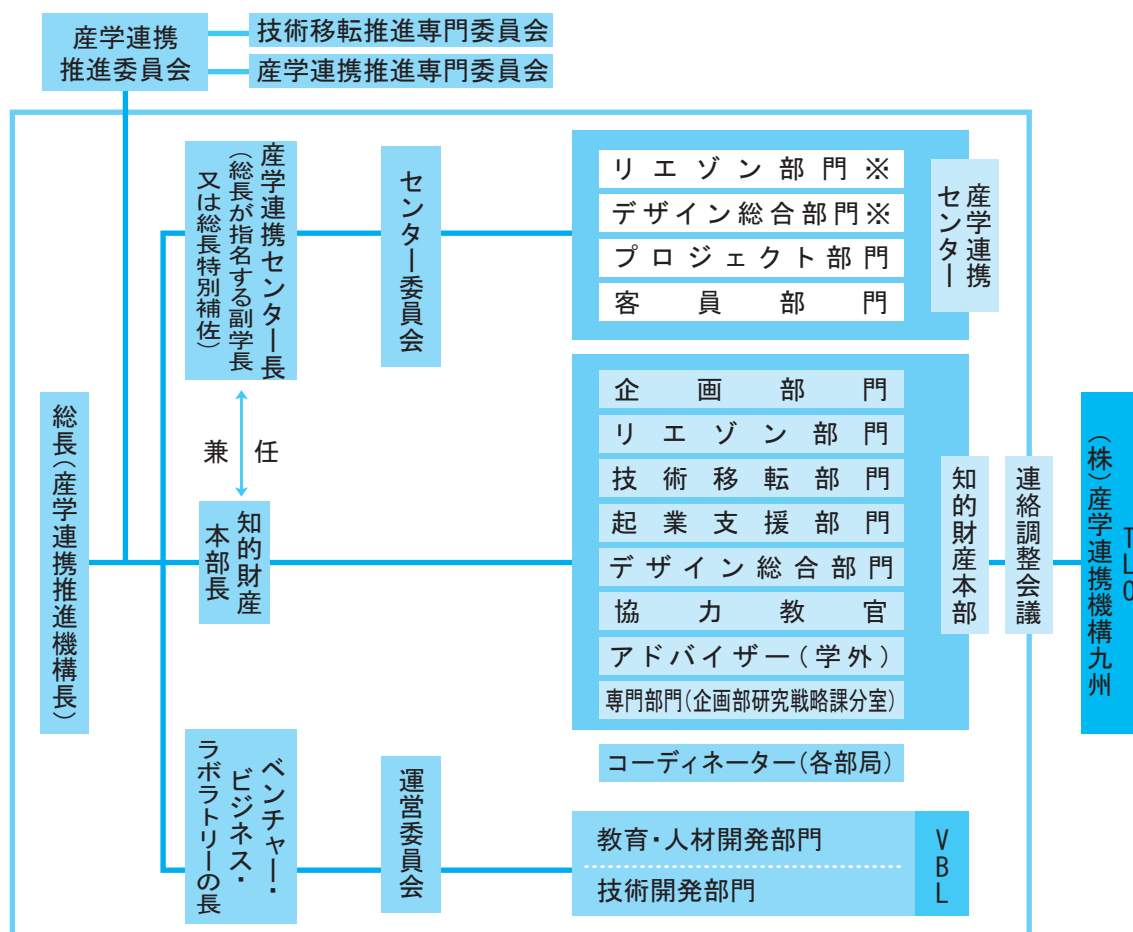
以下に、KASTEC ならびに BL0 の組織図を示します。また、附録4A 及び4B に KASTEC 教職員名を示します。

■ KASTEC の組織



■ KASTEC の組織と全学的な位置づけ

九州大学産学連携推進機構



■ センター委員会の役割

センター委員会では、次の各号に掲げる事項が審議されます。

- (1) 教員人事に関する事。
- (2) 教員の研究業務に係る重要事項に関する事。
- (3) 共同利用に係る業務の重要事項に関する事。
- (4) 研究員等に関する事。
- (5) 研究生等に関する事。
- (6) センター内の諸規則等の制定改廃に関する事。
- (7) 研究に係る自己点検・評価（外部評価を含む。）に関する事。
- (8) 共同利用に係る業務の自己点検・評価（外部評価を含む。）に関する事。
- (9) その他センターの管理運営に関する事。

今年度のセンター委員会の議事を附録5に示しました。

1.3 活動経過

KASTECに関連した平成15年度の主な行事、イベント等を時系列的に示します。

◆ (旧) 九州大学先端科学技術共同研究センター

平成15年

4月 1日	客員教授着任	
5月31日	先端科学技術講演会	KASTEC年報第9号発行
6月 7日	第2回産学連携推進会議	
8月 7日	第16回国立大学共同研究センター専任教官会議	
9月24日	第90回KASTECセミナー	

◆ (旧) 九州芸術工科大学地域共同研究センター

平成15年

4月 2日	平成15年度「コーディネート活動支援～新規成長産業連携支援事業」公募説明会	
25日	第7回産学連携活動促進公開セミナー	
5月27日	第8回産学連携活動促進公開セミナー	
6月 2日	21世紀型学術研究都市セミナー	
3日	平成15年度国立大学研究協力部課長会議	
7日	第2回産学連携推進会議	
18日	平成15年度国際企画担当部課長会議	
27日	第9回産学連携活動促進公開セミナー	
7月 3日	第10回産学連携活動促進公開セミナー	
11日	特別講演会（中村ひさお客員教授）	
29日	平成15年度地域共同研究センター客員教授等資格審議委員会	
8月 7日	第16回国立大学共同研究センター専任教官会議	
22日	平成15年度国立大学地域交流シンポジウム	
26日	第3回九州・沖縄地区国立大学産学連携マネジメント研修会	
9月 1日	平成15年度九州地域における研究開発の推進に関する意見交換会	
19日	平成15年度高度技術研修「EMTPベースの電力教育セミナー」	
26日	第11回産学連携活動促進公開セミナー	

◆九州大学産学連携センター

平成15年		
10月	1日	九州大学と九州芸術工科大学の統合により産学連携センター発足、リエゾン部門、デザイン総合部門、プロジェクト部門の3部門となる。九州大学知的財産本部設置。
10月	2日	第91回KASTECセミナー
	16日	第15回国立大学共同研究センター長会議
11月	6日	第24回国立大学等研究協力部課長会議
	7日	第92回KASTECセミナー
	25日	第5回九州地区国立大学地域共同研究センター長会議
26～27日		高度技術研修
12月	4日	第1回九州大学意匠権取得・活用促進公開セミナー（大橋地区）
	5日	九州大学産学官技術交流会「社会人のためのオープンキャンパス」（大橋地区）
	5日	第93回KASTECセミナー
平成16年		
1月	6日	客員教授講演会（大橋地区）
	8日	第94回KASTECセミナー
	23日	第2回九州大学意匠権取得・活用促進公開セミナー（大橋地区）
3月	10日	第3回九州大学意匠権取得・活用促進公開セミナー（大橋地区）
		KASTECパンフレット発行